

空母ジョージ・ワシントンと艦載機の動向

空母と艦載機の動き

米海軍の空母ジョージ・ワシントンは、昨年12月5日に横須賀へ入港しました。空母の入港中、大和市民は厚木基地を拠点として離着陸する空母艦載機の騒音に悩まされました。

今年4月25日、防衛省は、5月5日～16日に硫黄島で空母艦載機の着陸訓練を実施すると公表しました。この中で、硫黄島の天候などの事情により所要の訓練が実施できない場合は、厚木基地においても訓練を実施するとされています。このことから、大木大和市長は同日、厚木航空施設司令官ステイブ・J・ウィーマン大佐に対し、厚木基地で着陸訓練を決して実施しないよう強く要請しました。

このような中、2度にわたり訓練期間の変更が防衛省から公表されましたが、市では、その都度厚木基地で訓練を実施しないよう国や米軍に働きかけました。その後、全ての訓練が5月20日まで硫黄島で実施され、厚木基地で実施されることはありませんでした。

硫黄島での訓練終了後の5月24日、空母ジョージ・ワシントンは横



大和市上空を飛行する空母艦載機

須賀を出港しましたが、翌25日と26日の深夜には、それぞれ翌午前0時過ぎまで艦載機の飛行がありました。この飛行により市民生活に甚大な影響が及んだことから、市では米軍に対し深夜の飛行をやめるよう強く申し入れました。

市では今後も、県や基地周辺市と連携しながら、決して厚木基地で着陸訓練が実施されることのないよう、引き続き米軍と国に対し働きかけをいけます。

移駐協議会の動き

昨年1月、国は厚木基地から岩国基地への空母艦載機の移駐完了時期が2014年から2017年頃に延

期されると発表しました。これを受け、国、県および本市をはじめとした厚木基地周辺の9市は「厚木飛行場からの空母艦載機の移駐等に関する協議会」を発足させました。この協議会では、空母艦載機移駐の具体的なスケジュールや進捗状況、移駐までの間の騒音軽減策などについて協議しています。

5月28日には4回目の協議会が開催され、その席上、丸井博南関東防衛局長は移駐先の施設整備が順調に進んでいるとの認識を示しました。

市では、一日も早い空母艦載機移駐の実現など、市民の負担軽減を図るよう国に対して強く求めており、今後も厚木基地に起因する諸問題の解決に向けて取り組んでいきます。

● 市役所基地対策課基地対策担当
☎(260)53310 FAX(260)5316

介護サービス相談員に気軽にお声がけを 施設利用者の声を聴いています

市は、介護保険サービスの改善・向上を図るため、介護サービス相談員を特別養護老人ホームや有料老人ホームなどに派遣しています。同相談員は、一部の市内介護保険事業所を月1回程度の頻度で訪問し、利用者やご家族の相談に応じています。同相談員が施設を訪問した際には、ぜひお気軽にお声がけください。



小さなことでも相談員が親身になって対応します

● 市役所介護保険課給付指導担当 ☎(260)5170 FAX(260)5158。